

渥美半島生態系ネットワーク協議会、AKJ 環境総合研究所 共催

2020 年度 渥美半島自然学習フォーラム ご案内

当協議会では、“渥美の自然の現状”を知っていただき、“渥美半島の生態系ネットワーク形成”に向けた活動の輪を広げることを目的として、渥美半島自然学習フォーラムを下記のとおり開催します。

基調講演では東三河の自然保全活動でご活躍の瀧崎吉伸先生をお迎えして、渥美半島の植物に関するお話をさせていただきます。また、愛知県・田原市の事業報告、渥美半島生態系ネットワーク協議会構成団体の活動報告を開催します。みなさまのお申し込みをお待ちしています。

なお、今回はご希望の方に Zoom によるオンライン配信を行います。ご希望の方はお申し出ください。(後日、Zoom のアドレスを電子メールにてお送りいたします。)

参加をご希望の方は、Eメール、FAX、URL にてお申込みください。

開催日	2019年12月18日(金) 13:30 ~ 15:30 受付開始13:00より
会場	田原市役所 講堂(南庁舎6階) + Zoom によるオンライン配信
基調講演	渥美半島の植物 瀧崎吉伸 先生
事業・活動報告	自然の魅力発見ツアーガイド体験(福江高校観光ビジネスコースとの連携事業)地域環境リーダー 木村春雄様 愛知県の生物多様性保全の取組.....愛知県環境局自然環境課 山内 様 田原市の生物多様性保全の取組.....田原市生活環境部環境政策課 鈴木様 たはら里山の会 活動報告たはら里山の会長 河合正明様
参加費	無料
参加対象	どなたでも参加できます。
定員	50名 定員になり次第、参加申込書の受付を終了させていただきます。
募集締切	2020年12月16日(水)まで
お問い合わせ先	AKJ 環境総合研究所 担当 後藤尚弘 Eメール:atsumi.econet@gmail.com FAX (050) 3451 9811

【本事業は愛知県からの「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の助成を受けています。】

2020年12月18日(金)
2020年度 渥美半島自然学習フォーラム 参加申込書

フリガナ 代表者お名前	
フリガナ お名前	
フリガナ お名前	
フリガナ お名前	
オンライン配信 の希望	<input type="checkbox"/> 希望します 希望される方は <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。
代表者連絡先 住所 電話番号	〒
代表者連絡先 メールアドレス	
渥美半島生態系ネットワーク協議会からのお知らせを今後も受け取ってもよい <input type="checkbox"/> はい 「はい」の方は <input checked="" type="checkbox"/> をお願いします。	

この申込みによる個人情報は、当フォーラムに関することのみを使用します。

渥美半島生態系ネットワーク協議会/AKJ 環境総合研究所

Eメール: atsumi.econet@gmail.com

FAX (050) 3451 9811

申込 URL <http://bit.ly/2KBtxhX>

なお、申込書は (<http://bit.ly/2Jp17qn>) よりダウンロードできます。

【本事業は愛知県からの「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の助成を受けています。】



講演概要

渥美半島の植物

渥美半島は、本州で唯一、西向きに突き出した半島です。その先端を黒潮が洗い、伊良湖岬から東へと続く表浜は、世界で唯一汀線から沖合 3km までを保護された他に類を見ない海岸です。

渥美半島の成り立ちは、中央構造線と深い関係があります。中央構造線に沿って流れていた古天竜川は、現在の豊川河口に河口をもち豊橋平野を形成しました。

フィリピンプレートの活発な活動により、弓張山系の隆起によって天竜川の流路は現在の方向へと変わっていきました。それと共に、まだ堆積したての新しい地層を、フィリピンプレートに載ったチャートを中心とした古い地層が押しつぶしながら盛り上がってきたのが現在の渥美半島です。

渥美半島付け根近くの柔らかい地層は、海蝕によって著しく失われ、過去の丘陵の頂上がいきなり海岸に崖となってそびえるという、非常に変わった風景を呈しています。

この渥美半島には、天竜川・豊川からもたらされる豊かな地下水があります。その地下水が周囲の海水との比重の差で持ち上がる淡水レンズ現象が起き、半島の各所に湧水湿地が散在します。

そこに生育するのがシデコブシ、ナガボナツハゼなどの東海丘陵要素植物群です。また、海岸には砂浜が広がり、豊かな海浜植物が見られます。なかでもハギクソウは、おそらく現在、世界で確実に生育が確認されているのは渥美半島先端部のわずかな群落だけです。黒潮に運ばれたハマナタマメやハマオモトも生育していました。

また、中央構造線によってもたらされた蛇紋岩も、半島の付け根近くや隣接する姫島で見ることができます。蛇紋岩地に特有の草原性植物も多く観察されます。野生のキキョウの群落など、もう他で見られる場所を瀧崎は知りません。

渥美半島は農業の盛んな土地柄です。花卉園芸農業も盛んに行われており、それに関連するのか、国内の他の地域では見られない帰化植物も何種類か確認されています。今後の渥美半島の自然をどのように保全し、豊かな生物多様性を維持していくことができるかは私たち住民の意識にかかっていると思います。



瀧崎吉伸 先生



ナガボナツハゼ



ハギクソウ